

水土里ネットやまなし 第57回通常総会開催

第56回土地改良功労者表彰式



発行所

甲府市蓬沢1-15-35
山梨県自治会館5階
電話 055(235)3653
FAX 055(228)8174
山梨県土地改良
事業団体連合会
会長 白倉政司

水土里ネットやまなしは、去る三月二十六日（木）午後二時より山梨県自治会館講堂において、第五十七回通常総会ならびに第五十六回土地改良功労者表彰式を行いました。

総会は、保坂武副会長（甲斐市長）の開会のことばに続き、白倉政司会長（北杜市長）より冒頭、後藤斎山梨県知事、白井成夫県議会議長、大田武志関東農政局整備部長他、多数の来賓の方々、ならびに会員各位多数の出席に対するお礼と本会の日頃の円滑な運営に対する多大なるご支援・ご協力に対する感謝及び、受賞される表彰者に対する敬意を述べました。

さらに、「昨年十月三十日開催の全国土地改良大会山梨大会におきましては、全国各地より来賓、関係者併せて「約三、八〇〇名」の参加をいただき盛大かつ成功裡に終了することができました。事業視察においても「約二、三〇〇名」の方々に本県の新しい農業分野などを視察していただきました。併せて世界文化遺産の富士山はじめとした多くの観光資源などの山梨の魅力を存分にPR出来たと思います。これもひとえに、農林水産省をはじめ山梨県、県内市町村、会員の皆様、関係団体等のご支援と、ご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。昨年は、二月の記録的な大雪をはじめ、集中豪雨、御獄山の噴火など自然災害が多発し、本県においても、農業用ハウ

スなどに甚大な被害が発生した年であります。現在も、国などの支援をいただく中で、農業用ハウス等の再建・修繕の完了に向けて、その対策に携わっている方々のご苦労に対しまして、深く感謝申し上げます。

また、東日本大震災から四年が経ちましたが、現在も県農政部耕地課関係職員をはじめ全国から多くの方々が派遣され支援をしているときいております。一刻も早い復旧・復興を願うもので有ります。

農業農村を取り巻く情勢に目を向けてみると農業の担い手不足、高齢化、耕作放棄地の増加など非常に厳しい状況下にあります。また、ため池を含む農業水利施設などの老朽化も深刻であり、大規模自然灾害はもちらんのこと、県民の生命と財産を守るために農村地域の防災・減災が喫緊の課題となつております。

平成二十七年度の農業農村整備事業関係予算是、現在国会で審議中であり、二十六年を若干上回る予算案となつておりますが、本県の強い農業を実現するためには、適切な事業費の確保が是非とも必要であります。県におかれましては、農地中間管理機構の機能を最大限に發揮し、農地の流動化を積極的に推進出来る体制が昨年からスタートしております。新規就農者や企業などの多様な担い手のニーズにあつた農地の集約化を図つて行くこととしております。本会

農業の未来をひらく

みなさんの連合会です

緑なすやすらぎのふる里を
豊かな国土を守り育てる

土地改良を推進しよう

- ◇農業農村整備事業調査設計
- ◇換地確定測量業務
- ◇施設の診断、相談等

経験豊かで信頼ある連合会へ





総会会場

農林水産省関東農政局整備部長、旭選出国会議員秘書、他来賓の皆様が出席される中、土地改良事業功労者表彰式が行われ、県下の農業

では、会員の皆様の行う土地改良事業に間接的・直接的影響を及ぼす技術的指導及び援助はもとより、農地中間管理事業や多面的機能支払交付金等の各種施策の推進に貢献していくべきないと考えております。さらに、「水土里情報システム」を活用した新たな取り組みとして、「3D空間設計・解析システム」を導入しました。このシステムは、今までの平面的視点に加えて、今度は、立体的な視点から土地の形状や高さ、周辺との接続状況、鳥瞰図などを確認できるようになりました。会員の皆様におかれましては、これから各種「基本構想づくり」にご利用いただきたいと考えております。

「水土里ネットやまなし」として、農業農村を取り巻く社会情勢の変化や広く農村地域の人々のニーズを的確に捉え、本県の農業振興と農村の活性化について会員の皆様と共に関係機関のご支援をいたらく中、努力して参りたいと考えております。今後におきましても、国・県などのご指導、ご支援をお願い申し上げます。」と挨拶を述べました。

提出議案

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 第1号議案 | 平成25年度事業報告・収入支出決算並びに財産目録の承認について |
| 第2号議案 | 平成26年度収入支出補正予算について |
| 第3号議案 | 平成27年度事業計画について |
| 第4号議案 | 会費の賦課徴収方法並びに受託料算定基準について |
| 第5号議案 | 平成27年度役員報酬について |
| 第6号議案 | 平成27年度収入支出予算について |
| 第7号議案 | 一時借入金の限度額並びに借入方法について |
| 第8号議案 | 余裕金の預入先について |
| 第9号議案 | 役員の選任について |

また九号議案として任期満了に伴う役員の選任が審議されました。詮衡委員会において各農務事務所より推薦された、十五名より定款第十八条で規定されている理事十二名、監事三名の役員候補者が審議され、詮衡委員長より総会に報告され、満場一致で承認されました。

新役員より互選が行われ会長に北杜市長白倉政司様、副会長に甲斐市長保坂武様、甲州市田辺篤様、専務理事に加藤啓様、総括監事に徳島堰土地改良区理事長の野田正資様が選任されました。

(次ページ新役員紹介参照)

農村整備事業の推進に尽力された団体個人に表彰状及び記念品が、また感謝状及び記念品が本会役員、県職員に贈呈され、その功績をたたえました。

引き続き来賓の祝辞を後藤彦山梨県知事、白井成夫県議会議長、大田武志関東農政局整備部長よりいただきました。

また、来賓者として山里直志山梨県農政部長、県農政部の幹部の方々、県選出の国會議員秘書の方々、並びに県土地改良関係の方々の紹介を行いました。全国土地改良事業団体連合会野中広務会長、県選出の国會議員からの祝電を披露しました。

土地改良事業功劳者表彰では、白倉会長



後藤齋知事挨拶

第五十六回	土地改良功労者表彰 並びに感謝状贈呈
団体の部 御勅使川沿岸地区推進協議会	個人の部 （順序不同）
小澤 隆二 北杜市産業観光部 小早川 浩 農政課長 山口 幹夫 上野原市 副市長 田中 寿二 道志村 会計管理者 三浦 孝平 丹波山村 振興課長 富士河口湖町 農林課課長補佐	小澤 隆二 北杜市産業観光部 小早川 浩 農政課長 山口 幹夫 上野原市 副市長 田中 寿二 道志村 会計管理者 三浦 孝平 丹波山村 振興課長 富士河口湖町 農林課課長補佐
感謝状贈呈者 （山梨県農政部耕地課関係） 横内 公明 前理事 山本 重高 農政部技監 高橋 喜隆 出納局工事検査課 工事検査監	感謝状贈呈者 （山梨県農政部耕地課関係） 横内 公明 前理事 山本 重高 農政部技監 高橋 喜隆 出納局工事検査課 工事検査監



功劳者表彰

新役員のご紹介

平成二十七年四月一日（任期二年）



専務理事
学識経験者
加藤 啓
(再任)



副会長
甲州市長
田辺 篤
(再任)



副会長
甲斐市長
保坂 武
(再任)



会長
北杜市長
倉政 司
(再任)



理事
笛吹川沿岸土地改良区理事長
山梨市長
望月清賢
(再任)



理事
都留市長
堀内富久
(再任)



理事
笛吹市長
倉嶋清次
(再任)



理事
中央市長
田中久雄
(再任)



理事
丹波山村長
岡部政幸
(再任)



理事
市川三郷町長
久保眞一
(再任)



理事
身延町長
望月仁司
(再任)



監事
橋無堰土地改良区理事長
今村正城
(新任)



監事
上野原土地改良区理事長
奈良明彦
(新任)



総括監事
徳島堰土地改良区理事長
野田正資
(再任)

が閣議決定されたところであります。針となる新たな食料・農業・農村基本計画が、将來にわたつてその役割を適切に担つていけるよう、施策の改革や国民全体による取組を進めるための指針となる新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されたところであります。

さて、国においては、三月三十一日に我が国の農業・農村が、将来にわたつてその役割を適切に担つていけるよう、施策の改革や国民全体による取組を進めるための指

針となる新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されたところであります。また、これまでの総合的な農業政策として、農業・農村の持続可能な発展をめざす「農業農村整備基本計画」が策定され、農業・農村の持続可能な発展をめざす「農業農村整備基本計画」が策定されました。

山梨県土地改良事業団体連合会及び会員の皆様方には、日頃から県政推進にあたつて深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申上げます。

また、昨年の十月三十日にアイメッセ山

梨で開催された第三十七回全国土地改良大會山梨大会は、「富士の国やまなし発かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良」の大会テーマのもと、全国各地から農業農村整備に携わる三千六百人を超える関係者が参加され、盛大な大会となりました。

大会を通じて、本県の農業・農村の魅力を全国に発信できたことは、たいへん有意義なことであり、この大会を成功裏に終えられることができたのは、ひとえに大会の主催者であります山梨県土地改良事業団体連合会の皆様のご尽力によるものであり、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。

さて、国においては、三月三十一日に我が国の農業・農村が、将来にわたつてその役割を適切に担つていけるよう、施策の改

革や国民全体による取組を進めるための指針となる新たな食料・農業・農村基本計画



平成二十七年度を迎えて

山梨県農政部長 橋田恭

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節になりました。

山梨県土地改良事業団体連合会及び会員の皆様方には、日頃から県政推進にあたつて深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申上げます。

また、農業農村整備事業については、農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る保全管理、農村地域の強靭化に向けた防災・減災対策などを推進していくことになります。

県では、二月に後藤斎知事が就任し、「ダイナミックやまなし プラチナ社会構想」の実現に向けて、県の総合計画の策定を進めております。

この計画の策定にあたつて、農業分野では、儲かる農業を展開していくため、果実をはじめとする県産農産物の高品質化と新商品の開発や海外に販路を積極的に拡大するなど需要拡大に向けた戦略的な取組、農地中間管理機構が行う農地集積、また、こ

平成27年度 山梨県の農業農村整備の推進方向

1. 儲かる農業を支える生産基盤整備の推進

① 農地中間管理機構と連携した農地集積の推進

○農地中間管理事業を活用しつつ、担い手への農地集積を促進するため、ほ場整備等の生産基盤の整備を推進します。

（主な事業）
農地環境整備事業
経営体育成基盤整備事業
耕作放棄地解消・
発生防止基盤整備事業
県単農地集積基盤整備事業 等



農地環境整備事業 天王原地区

② 果樹生産基盤の再生と新産地形成の推進

○果樹王国やまなしを支える果樹生産基盤の再生と醸造用ぶどう等の新産地の形成を推進します。

（主な事業）
畑地帯総合整備事業
中山間地域総合整備事業
県単果樹園地化促進支援事業 等



畑地帯総合整備事業 明野地区

③ 野生鳥獣による農作物への被害防止対策の推進

○野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、侵入防止施設の整備を推進します。

（主な事業）
畑地帯総合整備事業
中山間地域総合整備事業
農地環境整備事業
県単鳥獣害防除事業 等



中山間地域総合整備事業 市川大門地区

2. 災害に強い、活力に満ちた農村づくりの推進

① 農村地域の防災・減災対策の推進

○災害の未然防止と発生時の被害の軽減を図るため、土砂崩壊防止施設や土地改良施設の老朽化・耐震化対策を適切に実施し、災害に強い農村づくりを推進します。

（主な事業）
ため池等整備事業
農村災害対策整備事業
団体営査調査設計費（耐震化調査） 等



ため池等整備事業 西野原地区

② 既存土地改良施設等の長寿命化対策の推進

○老朽化が進行する農業水利施設等のライフサイクルコストの低減を図るため、効果的な長寿命化対策を推進します。

（主な事業）
かんがい排水事業
一般農道整備事業
国営施設機能保全事業 等



かんがい排水事業 釜無川右岸地区

③ 農村活性化に向けた都市農村交流や住民活動の推進

○都市農村交流を促進するための拠点施設の整備や地域ぐるみで取り組む住民活動への支援など、農村地域への移住・定住の増加を促進するための取り組み等を推進します。

（主な事業）
中山間ふるさと水と土基金事業
山村振興等農村漁業対策事業 等



農産物直売所 地域住民活動

本指針として新たな農業施策大綱を策定し、積極的に取り組んでいく考えであります。農業・農村を取り巻く環境は引き続き厳しい状況であります。が、効果的・効率的な改革を着実に推進することとされており、施策の推進に努めて参りますので、今後とも、

も県政推進へご支援、ご協力を賜りますよ。農業・農村をよりよく環境は引き続き厳しい状況であります。が、効果的・効率的な改革を着実に推進することとされており、施策の推進に努めて参りますので、今後とも、

の益々のご発展と、会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

全国土地改良事業団体連合会
第五十七回 通常総会

全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）の第五十七回通常総会が去る三月二十五日（水）東京都千代田区平河町・都市センターホテルにおいて、各都道府県の水土里ネット会員並びに関係者多数出席のもと開催された。

野中広務会長は冒頭の挨拶の中で、「平成二十七年度予算は、三月十六日に衆議院予算委員会における審議を了し、現在参議院において審議中であります。一日も早い成立を見て各地に配分され、実効があがるよう期待している。全国水土里ネットとしても、国・都道府県と一体となつて、これらの執行がより有効なものになるよう、率先して努力してまいりたいと考えているので、皆様のご協力をお願い申し上げる」と述べました。

議長に、田中源一・佐賀県土連会長を選出し、議事に入り、平成二十五年度収入支出決算、平成二十六年度収入支出補正予算、平成二十七年度事業計画及び収入支出予算等全十二議案を全会一致で承認可決しました。

任期満了に伴う役員選任では、詮衡委員九名による詮衡委員会で協議した結果、推薦された理事十五名、監事三名を総会に諮り全会一致で新役員として承認可決されました。引き続き、新役員による互選を行い、和歌山土地連会長の二階俊博氏を会長に、副会長に秋田県土連会長の高貝久遠氏、長野県土連会長の中原正純氏、専務理事に中條康朗氏、また、本年度で会長を退任された野中広務前会長を名誉会長にとの報告を受け、総会に諮り全会一致で承認されました。

二階新会長は、新任の挨拶で「歴史・伝統のある全国土地改良事業団体連合会の会長に就任し、身の引き締まる思いで有ります。課題は多々あるが、土地改良ここにあり、土地改良がこれから日本の農業を新しくしていく、ということを現場で働いておられる農家の皆さんに、我々のメッセージとして届くように努力をしていきたい。このような決意を申し上げ私の挨拶とする」と述べました。

続いて、野中会長が退任の挨拶で「京都府連の会長に就任してから、既に二十七年間が過ぎた。これまで土地改良関係の皆様には大変お世話になつたが、これからは二階新会長を中心に、次の世代を担つていかかる方が当会を盛り立てていただければ幸いです。これからも、これまで先人の方々に培われてきた土地改良の伝統がしっかりと後世に伝えられるとともに、当会が益々繁栄され、我が国農業農村の未来が、土地改良の役割とともに輝かしいものとなることを祈念している」と述べられました。

全国土地改良事業団体連合会の役員は次の方々です。

決議

決議案では、次の八つの事項の実現を図り、農業農村整備事業を推進していくこととを確認、これを全会一致で決議として採択した。

▽代表監事
▽監事
埼玉県土連会長 柴田 忠雄
福島県土連会長 車田 次夫
高知県土連会長 橋詰 勝人

北海道士連会長 栃木県士連会長 大久保壽夫 塩尻
石川県士連会長 愛知県士連会長 神谷 芳央
鳥取県士連会長 山口県士連会長 木村 金衛
大分県士連会長 吹田 肇 賀川
義経 賢三

- TPP交渉に当たっては、衆参両院の国
会議決を踏まえ、日本の食の安全・安心を
担い、多面的機能を發揮している農業・農
村とこれを支える農家の生産意欲に、悪影
響を及ぼすようなことは、国として断固行
わないこと。
- 食料自給率の向上と担い手への農地集積
の加速化を実現し、コスト低減や高品質な
農作物の生産など力強い農業の展開を可能
とするため、水田の大区画化や汎用化、畑
地かんがい施設の整備をはじめとした各種
の対策を着実に推進すること。その際、中
山間地域等の地域特性を踏まえた基盤の再

□ 安定的・計画的な事業執行のために、平成二十八年度当初予算においては、平成二十二年度に大幅に削減された農業農村整備予算の着実な回復が実感でき、現場のニーズに応えられる規模を確保すること。さらに、補正予算が編成される場合には、必要な予算処置を講ずること。

□ TPP交渉に当たっては、衆参両院の国際会議決を踏まえ、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を發揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に、悪影響

力料金の値上げ等により運営基盤が大きくなり、一方で、担い手への農地集積等により高度な維持管理が求められるなど、今後とも構造改革に対応した維持管理が行われるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること。

□安定的・計画的な事業執行のために、平成二十八年度当初予算においては、平成二十二年度に大幅に削減された農業農村整備予算の着実な回復が実感でき、現場のニーズに応えられる規模を確保すること。さら

決議案では、次の八つの事項の実現を図り、農業農村整備事業を推進していくことを確認、これを全会一致で決議として採択した。

□農地中間管理事業の推進に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、地図情報システムを活用し、担い手の育成や面的集積、行政機能の補充など制度の円滑な推進に貢献すること。また、その祭は、国こ

た技術、経験などもてる能力を十分發揮できるよう、都道府県を指導すること。

全国水土里ネット表彰式

全国水土里ネット表彰式が、三月二十九日午後三時から、東京都シェーンバッハ・サボーで開催され「第五十六回全国土地改良功労者表彰」「平成二十六年度農業農村整備優良地区コンクール表彰」「二十一世

任期満了に伴う役員選任では、詮衡委員会による十五名の推薦を受け、総会にて承認されました。引続き、新役員による互選を行い、和歌山土地連会長の二階俊博氏を会長に、野県土連会長の中原正純氏、専務理事に中條康朗氏、また、本年度で会長を退任された野中広務前会長を名誉会長にとの報告を受け、総会にて承認されました。

全国土地改良事業団体連合会第十五期役員名簿



林芳正大臣来賓挨拶

主催者を代表し、全国水土里ネット野中広務会長は祝辞の中で、表彰関係者の功労、榮誉を称え、「それぞれの地域において、年にわたり農業農村の発展に努力され、多大な功績を残された方々ばかりです。長きにわたり風雪に耐え抜いてきた力と、その豊富な経験、識見は、我が国の農業農村を発展させていく上で特に貴重なものと考へている。受賞者には、今後とも引き続きそれぞれの立場で一層ご指導してもらい、土地改良事業の推進と地域の進行に尽力するようお願いしたい」と要請しました。また、二階新会長は、本年度で会長職を退任するが、



野中店務会長挨拶

らに前に進め『強い農林水産業』『美しく活力ある農山漁村』の実現に全力で取り組んでいく。本日表彰の栄に浴される土地改良区、団体又は個人の皆様は、それぞれの地域の特性に応じて、最新の技術の活用、地域住民との連携、担い手への農地集積、農産物の高付加価値などに積極的に取り組まれ、団体の良好な運営、農業の生産性の向上、個性ある地域づくりに大きな成果を挙げてこられた。このような皆様方の活動の重要な契機をなすものが農業農村整備事業であり、今後ともその一層の推進に努めています」と述べました。

第五十六回 全国土地改良功劳者

団体の部

三
重

明陞芳名留一壇改此因酒乃岩男珍異真

小曲土地改良区
（飯野健彦理事長）

銅章表彰

本途堰土地改良区（小林邦生理事長）

國
文
部

卷之三

(卷之三)

(鑒無川右岸土地改且因連合專務現重



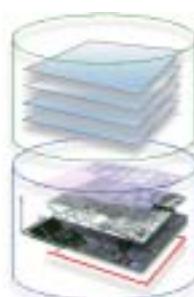
山梨県表彰者

◎水土里情報システムの活用

本会では、平成19年度から関係機関の協力で、水土里情報利活用促進事業（農林水産省）により農業振興地域の水土里基盤図（航空写真、地形図、農地筆図等）の整備を行いました。これに耕作放棄地状況や鳥獣害防止柵設置状況等を付加することで、農業農村地域の現状把握が可能となっています。また、平成23年度には、県、市町村、県土連の共同による県全域の航空写真（精密デジタルオルソ）の整備を実施し情報の更新をしています。

こうした情報を有効に活用するため県土連では、独自開発による水土里情報GIS（地理情報システム）の会員への提供を行い、水土里情報基盤図の有効活用を支援しています。

＜水土里情報イメージ＞



利用機關但有情起

- 農地筆図または全筆図
- 航測地形図(1/2,500)
- 航空写真(1/2,500 精密オルソ)
- 航空レーザー(赤色立体図)
- 標高データ(メッシュ標高)



〈山梨県土連GIS画面表示（web型）〉

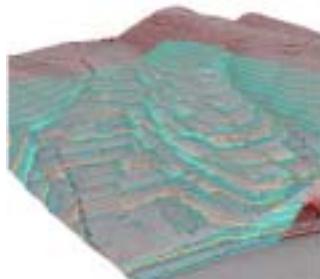
<赤色立体図の活用>

平成24年度に航空レーザー計測成果（1mメッシュ標高値）から作成した赤色立体地図（特許 アジア航測）を整備しました。この赤色立体地図は、航空写真だけでは確認することの出来なかった詳細な地表の状況を確認でき、現地にあった資料作成やシミュレーションが可能となります。

県土連では、これを積極的に活用すること精度の向上を図っています。

<赤色立体図を活用した受託業務>

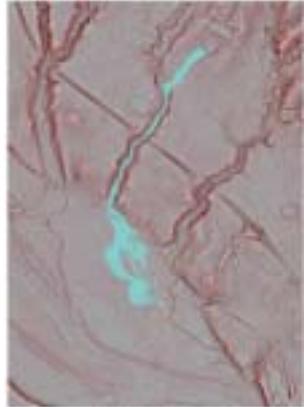
- ・水路の断面検討における流域の確定
- ・ため池の氾濫解析シミュレーション
- ・道路計画における路線選定（縦断勾配）等の計測



<赤色立体図に等高線を表示>



<航空写真によるハザードマップ>



<赤色立体図によるハザードマップ>

◎三次元空間設計システムの活用

県土連では、本年度より三次元空間設計・解析システムを導入しました。

このシステムは、様々な解析ツールが用意され、流水経路、傾斜分布、任意点での断面、堆砂計算、がけ崩れ、土石流などの地形の変化量の計算他様々です。

また、これらの計算結果を視覚的に分かりやすく表示することも可能となります。

今後、受託業務における段階的な検討や地元説明資料等に積極的に活用することとしています。



<従来の航空写真による構想計画>



<三次元システムによる構想計画>



第9回

やまなし農村風景写真コンクール

応募方法

▶ テーマ ふるさと つなげよう故郷のちから

農村は食料生産の場であり人々の大切な生活の場でもあります。その魅力と役割を見つめ、伝え、繋げ、これからある力強い農業農村を築いていくことが、私たちの役割ではないでしょうか。

今回は、山梨の桃源郷をはじめとした美しい農村景観、農家の方々が丹精込めて作った農産物、田植えや収穫等の農作業、活気ある農村生活や伝統のお祭りなどの作品を募集します。もちろん風情のある四季の農村風景写真も応募できます。

▶ 応募作品の規定

カラープリント四切(254mm×305mm)またはワイド四切(254mm×365mm)で合成処理の加工をしていないものに限ります。

フィルム(リバーサル、ネガ)の使用を基本としますが、デジタルカメラで撮影した作品の応募も可能です。ただし、写真のプリントは銀塩プリントを極力使用してください。また画像の加工・修整した作品は失格とします。

▶ 応募資格

どなたでもご応募いただけます。ただし、暴力団関係者からの応募はできません。後日発覚した場合は取り消します。

本人撮影の作品であっても、同じあるいは類似した写真を他の конкурーや雑誌等への応募/投稿は出来ません。2重応募作品あるいは類似した写真が確認された場合は、授賞を取り消します。

小学生から高校生までは、学校名・学年を必ず明記してください。

■ 応募上の注意

●平成24年9月1日以降に山梨県内で撮影したものとします。

●作品の裏面に、このリーフレット下部の応募票(コピー可)に必要事項を記入して貼付してください。

●被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任は負いません。応募に際しては必ず本人(被写体)の承諾を得てください。

●応募点数の制限はありませんが、入賞は原則1人1点とさせていただきます。

●入賞作品の使用権は主催者側に帰属するものとします。また入賞作品については主催者の指定する日までに原版(ポジ、ネガ、データなど)を提出していただきます。(入賞候補者へ個別にご連絡します。また、デジタルデータについて撮影日が不明の場合は再提出あるいは修整とみなす場合があります)

●入賞作品は、山梨県が作成する各種広報資料(ポスター、冊子等)やイベント等の展示に使用します。

●作品の返却を希望される方(入賞を除く)のうち、カメラ商組合から山梨フジカラー経由で着いた写真のみ山梨フジカラー経由でカメラ商組合に返却します。それ以外の方で郵便により返却を希望する場合は、返却先を記載し、必要分の切手を貼った返却用封筒に住所、宛名を記入して応募作品に同封してください。返却用封筒・切手が同封されていないもの(山梨フジカラー経由によらないカメラ商組合への返却を含む)及び入賞作品については返却できません。

お送りいただいた個人情報は、写真コンクールの事務手続及び入賞作品の発表や印刷物等への使用時における作者表示に使用するものとし、それ以外の目的に使用することはありません。



応募締切
平成27年8月31日(月)

主催 山梨県

後援(順不同)

NHK甲府放送局
(株)山梨放送
(株)テレビ山梨
(株)山梨日日新聞社
山梨県土地改良事業団体連合会
(株)山梨フジカラー
山梨県カメラ商組合



お問い合わせ先
山梨県農政部耕地課内
写真コンクール事務局
TEL 055-223-1627

農業の夢を語ろう！ 専門学校山梨県立農業大学校

◆学校説明会(年5回 養成科・専攻科共通)
6月20日(土) 7月25日(土) 8月21日(金)
9月12日(土) 10月31日(土)

※詳細は、電話0551-32-2269まで

◆推薦入試 ◇一般入試(前期/後期)
養成科 推薦入試 10月14日(水)
養成科・専攻科 前期一般入試 12月8日(火)
養成科・専攻科 後期一般入試 2月16日(火)

本年度も会員各位のご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

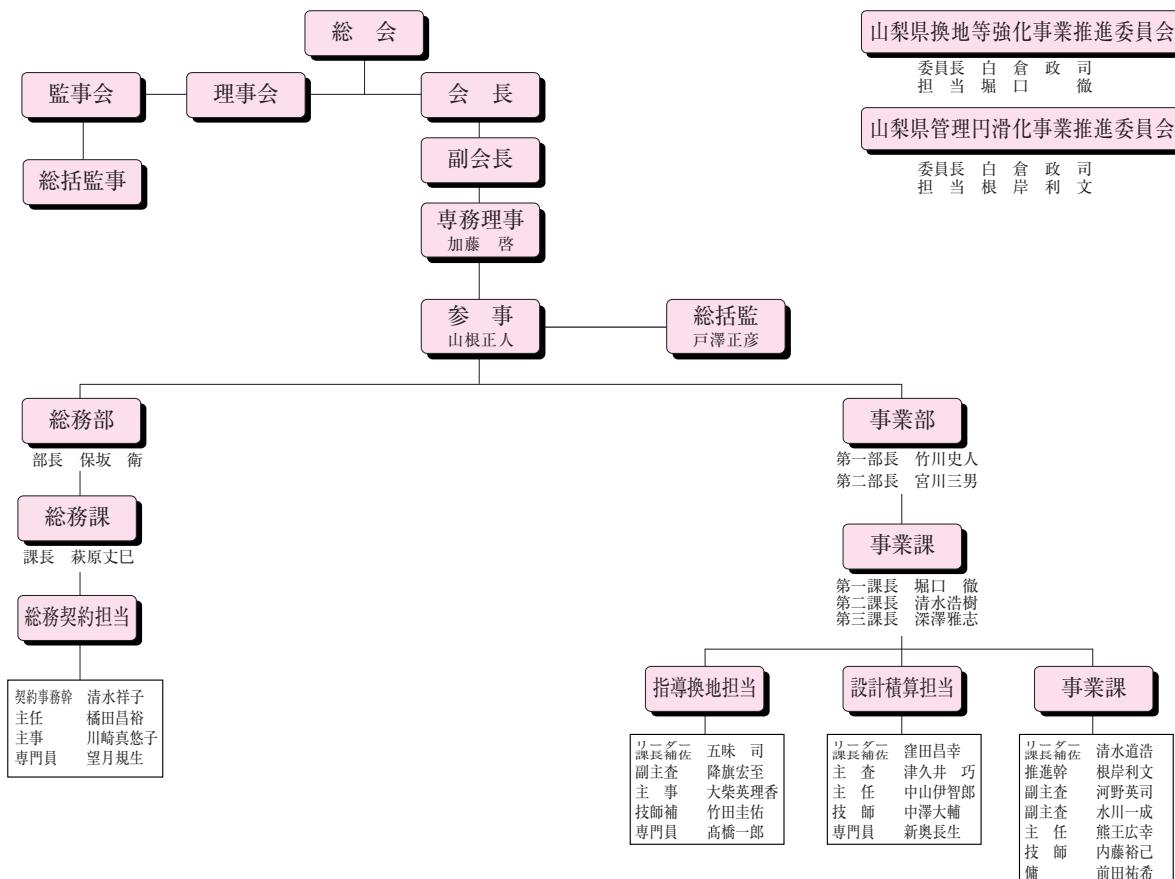
水土里ネットやまなし

(山梨県土地改良事業団体連合会)

ご
あ
い
さ
つ

山梨県土地改良事業団体連合会機構図

(平成27年4月1日 現在)



第五十七回通常総会におきまして新しい役員が承認されました。役職員一丸となつて会の運営を行つていく所存です。本年度も相変わらず関係各位のご支援・ご協力をお願いするものでござります。

「水土里情報システム」を活用した新たな取り組みとして3D空間設計・解析システムを導入しました。平面的視点に加えて、立体的な視点から土地の形状や高さ等が確認できるようになりました。会員の皆様におかれましては各種「基本構想づくり」にご利用していただきたいと考えております。

当会職員も、一人一資格以上を目指すこと方に、研修会等に参加し技術力の向上を図り、会員のみなさまの要望に応えられる連合会である様に努力して参りますので、よろしくご指導のほどお願いします。

あとがき

農業農村整備事業の
調査設計・測量・換地確定測量業務
農業集落排水事業・水土里情報関連
は最新の技術で応える土地連へ

山梨県土地改良事業団体連合会 土地改良相談室

建設コンサル登録：農業土木部門

平成23年4月8日



〒400-8587 山梨県甲府市蓬莱1丁目15番35号 山梨県自治会館5階
TEL 055-235-3653・FAX 055-228-8174
URL : <http://www.yamanashi-doren.or.jp>
E-mail : syomu@yamanashi-doren.or.jp